

1-5 動植物の生息又は生育，植生及び生態系の状況

(1) 植 物

ア. 植 生

建設予定地及び周辺における現存植生の状況を次頁に示す。

これによると，建設予定地及び近接地は“造成地”とされている。

イ. 保全上注目すべき樹林・樹木

建設予定地及び周辺において，以下の法令等によって指定された保全上注目すべき樹林・樹木に関する情報を収集・整理した。

<保全上注目すべき樹林・樹木の選定基準>

- ① 「文化財保護法」及び関連条例に基づき「天然記念物」に指定されている樹林，巨木
- ② 「自然環境基礎調査」（環境省）に記載された巨樹・巨木

これによると，建設予定地の西北西約2kmに「箕島のラカンマキ」（保全すべき樹木）があるが，建設予定地及び近接地に保全すべき樹林等は確認されなかった。

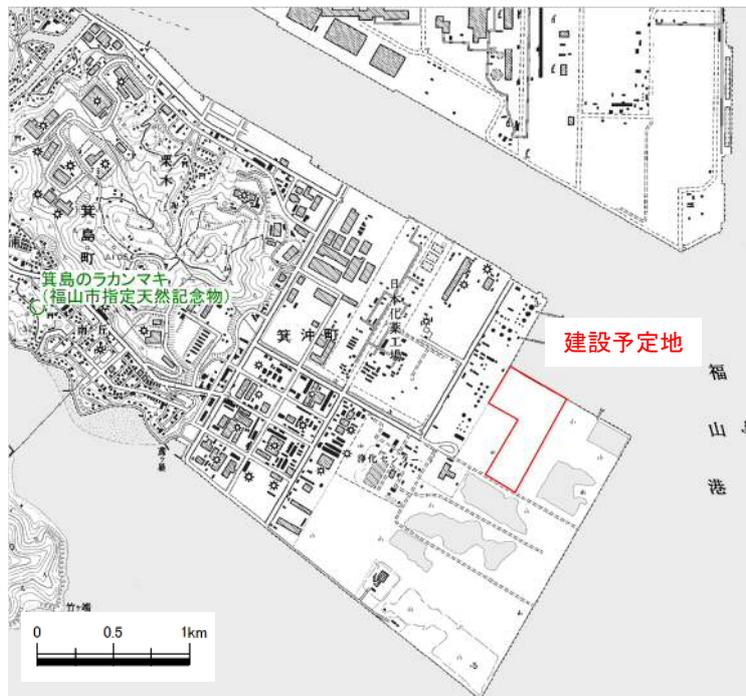
箕島のラカンマキ

ラカンマキはイヌマキの変種とされ，わが国では本州中部・九州南部・琉球に自生する。雌雄異株の常緑高木で，広く生垣などに植栽されている。

箕島のラカンマキは，目通り周囲3.3m，樹高約18mの巨木で，地上3.5m付近で3本に分岐しその内の1本はほとんど枯死している。しかし樹勢は旺盛で推定樹令400年といわれている。（福山市指定天然記念物）



出典：福山市HP



保全すべき樹木・樹林



凡例	
	コナラ群落
	コバノミツバツツジアカマツ群集
	ヨシクラス
	常緑果樹園
	畑地雑草群落
	水田雑草群落
	市街地
	工業地帯
	造成地
	開放水域

植 生 図

出典：自然環境基礎調査（環境省）

ウ. 保全上注目すべき植物

建設予定地の位置する福山市を対象に、以下の法令等によって指定された保全上注目すべき植物の生育に関する情報を収集・整理した。

<保全上注目すべき種等の選定基準（①～④のいずれかに該当）>

- ① 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（以下、「種の保存法」という）」に基づく「国内希少野生動植物種」（植物 26 種）
- ② 「広島県野生生物の種の保護に関する条例」に基づく「指定野生生物種」（植物 4 種）
- ③ 環境省の「第 4 次レッドリスト」において、絶滅危惧 I B 類以上に指定された植物
- ④ 「レッドデータブックひろしま 2011」において絶滅危惧 I 類以上に指定された植物

〔参考〕環境省レッドリスト，レッドデータブックひろしまのカテゴリー定義

環境省のカテゴリー区分	広島県のカテゴリー区分
<u>絶滅 (EX)</u> ：我が国ではすでに絶滅したと考えられる種	<u>絶滅 (EX)</u> ：広島県ではすでに絶滅したと考えられる種
<u>野生絶滅 (EW)</u> ：飼育・栽培下，あるいは自然分布域の明らかに外側で野生化した状態でのみ存続している種	<u>野生絶滅 (EW)</u> ：飼育・栽培下でのみ存続している種
<u>絶滅危惧 I 類 (CR+EN)</u> ：絶滅の危機に瀕している種 <u>絶滅危惧 I A 類 (CR)</u> ：ごく近い将来における野生での絶滅の危険が極めて高いもの <u>絶滅危惧 I B 類 (EN)</u> ：I A 類ほどではないが近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの	<u>絶滅危惧 I 類 (CR+EN)</u> ：絶滅の危機に瀕している種
<u>絶滅危惧 II 類 (VU)</u> ：絶滅の危険が増大している種	<u>絶滅危惧 II 類 (VU)</u> ：絶滅の危険が増大している種
<u>準絶滅危惧 (NT)</u> ：現時点での絶滅危険度は小さいが，生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種	<u>準絶滅危惧 (NT)</u> ：存在基盤が脆弱な種
<u>情報不足 (DD)</u> ：評価するだけの情報が不足している種	<u>要注意 (AN)</u> ：評価するだけの情報が不足している種，または，広島県の自然特性等から保護上の重要度の高い種
<u>絶滅のおそれのある地域個体群 (LP)</u> ：地域的に孤立している個体群で，絶滅のおそれが高いもの	-

出典：環境省 生物多様性情報システム HP
レッドデータブックひろしま 2011

<文献調査の対象とした資料>

- ・レッドデータブックひろしま 2011
- ・環境省 生物多様性情報システム HP
- ・上記 2 種のほか，国・地方自治体が発行した文献，WEB 情報
- ・学会，任意団体等の発行資料については，「レッドデータブックひろしま 2011」において，参考文献として使用されている文献，WEB 情報

文献調査の結果、建設予定地の位置する福山市に確認記録のある保全上注目すべき植物としてシダ植物 10 種、種子植物 45 種、藻類 1 種、蘚苔類 1 種が抽出された。

これらの種について、生育確認地の詳細な位置情報は公表されていないが、建設予定地が工業団地内の造成地であることを考慮すると、建設予定地及び近接地に保全上注目すべき植物が生育する可能性は低いものと想定される。

ただし、建設予定地内にひろがる草地、並びに、沿岸域の湿地などに依存するヒロハマツナなどの生育の可能性は否定できない。

福山市に確認記録のある保全上注目すべき植物

分類	種名	広島県 条例	環境省 RL	RDB ひろしま	分類	種名	広島県 条例	環境省 RL	RDB ひろしま
シ ダ 植 物	キヨスミコケシノブ			CR+EN	種 子 植 物	ムラサキ		EN	CR+EN
	エビガラシダ		(VU)	CR+EN		ヤマホオズキ		EN	CR+EN
	オクタマンダ		(VU)	CR+EN		ヒメトラノオ			CR+EN
	ミズニラ	○	(NT)			ゴマノハグサ		(VU)	CR+EN
	ミズニラモドキ	○	(VU)			ヤチシャジン	○	CR	CR+EN
	オオバシナミズニラ	○	EN			ウスバアザミ		EN	
	タキミシダ		EN	CR+EN		ヒゴタイ		(VU)	CR+EN
	ヤマドリトラノオ		CR			フジバカマ		(NT)	CR+EN
	デンジソウ		(VU)	CR+EN		ネコヤマヒゴタイ		(VU)	CR+EN
	サンショウモ		(NT)	CR+EN		オオダイトウヒレン			CR+EN
種 子 植 物	クロタマガヤツリ			EX	イワヤクシソウ		CR	(VU)	
	ヒロハマツナ		(VU)	CR+EN	シバナ		(NT)	CR+EN	
	ミシマサイコ		(VU)	CR+EN	カワツルモ		(NT)	CR+EN	
	ハマオモト			CR+EN	トリゲモ		(VU)	CR+EN	
	ツレサギソウ			CR+EN	ステゴビル		(VU)	CR+EN	
	オグラセンノウ	○	EN	CR+EN	ヒメユリ		EN	CR+EN	
	イワアカザ		CR	CR+EN	ミドリヨウラク			CR+EN	
	タイシャクカラマツ		EN		ワニグチソウ			CR+EN	
	オニバス		(VU)	CR+EN	アオイカズラ		(VU)	CR+EN	
	キバナハタザオ			CR+EN	タイシャクカモジ		CR	CR+EN	
	シロヤマブキ		EN	CR+EN	ヒナラン		EN	CR+EN	
	ハマビシ		EN	CR+EN	キエビネ		EN	CR+EN	
	タイシャクイタヤ		EN	(VU)	クマガイソウ		(VU)	CR+EN	
	シラガブドウ		EN		エゾスズラン			CR+EN	
	マンシュウボダイジュ		CR	(VU)	ベニシュスラン			CR+EN	
	サクラスミレ			CR+EN	ギボウシラン		EN	CR+EN	
	サワトラノオ		EN	(AN)	藻類	ハデフラスコモ		CR+EN	(NT)
	チトセカズラ		(VU)	CR+EN	蘚苔類	キブリハネゴケ		(NT)	CR+EN
	マメダオン		CR						

(2) 保全上注目すべき動物

建設予定地の位置する福山市を対象に、以下の法令等によって指定された保全上注目すべき動物の生息に関する情報を収集・整理した。

<保全上注目すべき種等の選定基準（①～⑤のいずれかに該当）>

- ① 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（以下、「種の保存法」という）」に基づく「国内希少野生動植物種」（動物 63 種）
- ② 「広島県野生生物の種の保護に関する条例」に基づく「指定野生生物種」（動物 7 種）
- ③ 「文化財保護法」に基づく「天然記念物」のうち「地域を定めず」指定されている植物（96 種）
- ④ 環境省の「第 4 次レッドリスト」において、絶滅危惧 I B 類以上に指定された動物
- ⑤ 「レッドデータブックひろしま 2011」において絶滅危惧 I 類以上に指定された動物

<文献調査の対象とした資料>

- ・レッドデータブックひろしま 2011
- ・環境省 生物多様性情報システム HP
- ・上記 2 種のほか、国・地方自治体が発行した文献、WEB 情報
- ・学会、任意団体等の発行資料については、「レッドデータブックひろしま 2011」において、参考文献として使用されている文献、WEB 情報

文献調査の結果、建設予定地の位置する福山市に確認記録のある保全上注目すべき植物として鳥類 16 種、両生類 1 種、魚類 8 種、昆虫類 4 種、その他の動物 4 種が抽出された。

これらの種について、生息確認地の詳細な位置情報は公表されていないが、建設予定地が工業団地内の造成地であることを考慮すると、建設予定地及び近接地に保全上注目すべき動物が生息する可能性は低いものと想定される。

ただし、建設予定地内にひろがる草地、並びに、低湿地などに依存するタマシギなどの生息の可能性は否定できない。

福山市に確認記録のある保全上注目すべき動物

分類	種名	種の保存法	広島県条例	文化財保護法	環境省 R L	広島 R D B	分類	種名	種の保存法	広島県条例	文化財保護法	環境省 R L	広島 R D B	
鳥類	アビ		○				魚類	スナヤツメ					CR+EN	
	オオハム		○					ニゴロブナ					EN	
	シロエリオオハム		○			CR+EN		ニッポンバラタナゴ					CR	
	ミゾゴイ				EN	(VU)		ワタカ					EN	
	クロツラヘラサギ				CR			アユモドキ	○		○	CR	CR	CR+EN
	コクガン			○				スジシマドジョウ					EN	
	ヒシクイ			○				サツキマス						CR+EN
	ツクシガモ				EN			ゴクラクハゼ						CR+EN
	クマタカ	○			EN	(VU)		昆虫類	スジゲンゴロウ				CR+EN	EX
	チュウヒ				EN	(VU)			ホシチャバネセセリ				CR+EN	CR+EN
	ハヤブサ	○				(NT)			クロシジミ				CR+EN	CR+EN
	ヘラシギ				CR				オオウラギンヒョウモン				CR+EN	EX
	カラフトアオアシギ	○				CR			その他	カブトガニ		○	CR+EN	CR+EN
	コシヤクシギ				EN			シノミミガイ					CR+EN	
タマシギ				(VU)	CR+EN	キバサナギガイ					CR+EN			
コアジサシ					CR+EN	サナギガイ					CR+EN			
両生	ナゴヤダルマガエル				EN	CR+EN								

1-6 景観及び人と自然との触れ合い活動の状況

(1) 景観特性及び景観資源の分布状況

建設予定地は箕沖工業団地の中に位置し、建設予定地の北側は福山港に接している。

なお、建設予定地の北側の海面は「瀬戸内海国立公園」の普通地域に指定されているが、特筆すべき景観資源等は見当たらない。



<建設予定地内から北方向をのぞむ>

建設予定地の北側には福山港、さらにその北側にはJFE福山工場があり、人工的な景観を呈している。



<建設予定地内から西方向をのぞむ>

建設予定地の西側には中国電力株式会社福山太陽光発電所（出力3,000kW、2011年12月運転開始）があり、その西側には緑地帯をはさんでヤスハラケミカルなどの工場が位置している。また、さらにその西側遠方には石鎚山がわずかに視認できる。

(2) 主要な眺望点の分布状況

建設予定地及び周辺において、観光名所等として著名な眺望点としてはない。

(3) 周辺からの建設予定地の視認状況

建設予定地の西北西に位置する石鎚山には南東方向に視界の開けた箇所があり、そこから、建設予定地をのぞむことができる。

ただし、この場所は建設予定地から約1.6km離れているため、建設予定地北西に隣接する福山太陽光発電所もわずかに視認できる程度にとどまっている。



1-7 文化財の状況

建設予定地及び周辺において、文化財保護法、広島県文化財保護条例、福山市の文化財保護条例に基づき指定を受けた指定文化財（史跡、名勝、天然記念物）は延べ88件存在する。

これによると、建設予定地及び近接地には、史跡等の指定文化財は存在しない。

なお、建設予定地から約1.6km北西には、福山市天然記念物に指定された「箕島のラカンマキ」（詳細は“保全すべき樹林・樹木”の項に記載）が存在するが、本事業に伴い改変・影響を受けるものではない。

福山市の・史跡・名勝・天然記念物

	史跡	名勝	天然記念物
国指定	6	1	0
広島県指定	27	1	8
福山市指定	25	0	20
計	58	2	28

出典：福山市HP